

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

No	①事業名	②事業概要	③事業実績	④効果・検証	⑤事業 始期	⑥事業 終期	⑦事業費 (円)	⑧ うち交付金 (円)	⑨ 担当課
1	中小企業等支援臨時給付金事業	事業の継続を支え、事業全般に広く使える、再起の糧とするための支援を行う。	事業収入が前年度比で50%以上減少した事業者（国の持続化給付金事業者）に対して上乗せ給付を行った。 法人 30万円：195社 個人 10万円：328事業所	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うインパウンドの急減や営業自粛等により特に大きな影響を受けている町内事業者に給付金を交付することにより、事業継続の支援に資することができた。	R2.5	R3.3	91,988,936	91,988,936	商工観光課
2	子育て世帯への臨時特別給付金事業	子育て世帯の経済的な影響の緩和のための支援を行う。	対象となる世帯に一律2万円の支援金を給付した。 対象児童:1,339人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響をより強く受けると見込まれる子育て世帯に給付金を支給することにより、子育て世帯の福祉の向上に資することができた。	R2.5	R2.9	26,780,000	26,780,000	健康福祉課
3	児童扶養手当受給世帯への給付事業	ひとり親家庭の経済的な影響の緩和のための支援を行う。	対象となる世帯に一律2万円の支援金を給付した。 対象児童:46人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響をより強く受けると見込まれる子育て世帯に給付金を支給することにより、子育て世帯の福祉の向上に資することができた。	R2.5	R2.11	925,736	925,736	健康福祉課
4	特別児童扶養手当受給世帯への給付事業	障害を持つ子を養育している世帯の経済的な影響の緩和のための支援を行う。	対象となる世帯に一律2万円の支援金を給付した。 対象児童:23人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響をより強く受けると見込まれる子育て世帯に給付金を支給することにより、子育て世帯の福祉の向上に資することができた。	R2.5	R2.11	462,990	462,990	健康福祉課
5	妊産婦応援臨時給付金事業	妊婦が妊娠から出産にかかる経済的負担などを軽減し、安心して産み育てる環境を提供できるよう支援する。	対象者に一律10万円の支援金を給付した。 対象妊婦:52人	コロナ禍の中、様々な不安を抱えて出産をされる子育て世帯に支援金を給付することで、経済的負担の軽減を図ることができた。	R2.5	R3.3	5,200,000	5,200,000	健康福祉課
6	ブランド活性化対策支援事業	町が推進する農林水産物のブランド品継続のための支援を行う。	対象となる事業者に支援金を給付した。 漁協組合 100万円：1件 畜産事業者等 30万円：6件	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業縮小等を余儀なくされた町独自の農林水産物のブランド推進等を行っている団体に対し、支援金を支給することでブランドの維持及びPRが図られた。	R2.5	R2.7	2,800,000	2,800,000	農林水産課
7	就学援助給付金事業	就学援助を受給する子育て世帯への経済的な影響の緩和のための支援を行う。	対象となる世帯に一律2万円の支援金を給付した。 対象児童2万円：100人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響をより強く受けると見込まれる就学援助世帯に給付金を支給することにより、就学に係る経済的負担の軽減が図られた。	R2.5	R2.6	2,000,000	2,000,000	教育総務課
8	テレワーク・オンライン会議環境整備事業	新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、職員が在宅勤務（テレワーク）に対応できるようシステムを構築する。	テレワーク環境の整備を行った。 テレワーク用パソコン：10台	新型コロナウイルスによる療養機関や自宅待機期間においてテレワークによる業務を実施し、業務継続が図られた。	R3.2	R3.3	911,900	911,900	総務課
9	災害対策事業	避難所等における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、衛生用品（マスク、消毒液等）を備蓄する	感染症予防対策備品及び消耗品を購入した。 使い捨てマスク：11000枚 布マスク：145袋 消毒液：20L×1本 1L×12本 600ml×12本 500ml×10本 フードプラス2缶 フログレス：20L×5箱 除菌ペーパー：60枚×袋 消毒用霧吹き：62個 手袋：812枚 医療衛生機器（体温計）：10個	感染症拡大防止のため、感染対策用品の支給及び消毒用の物品を備蓄することで避難所等における感染症予防体制の整備を図ることができた。	R2.4	R2.11	1,281,036	1,281,036	総務課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

①事業名	②事業概要	③事業実績	④効果・検証	⑤事業 始期	⑥事業 終期	⑦事業費 (円)	⑧ うち交付金 (円)	⑨ 担当課	
10	新型コロナウイルス感染症対策事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のための衛生用品(マスク、消毒液等)の購入及び感染症拡大防止の啓発及び情報発信を行う。	各公共施設での衛生用品の購入、啓発用ポスターの製作 手指消毒剤：1L×31本、5L×10本 消毒用アルコール：5L×7本 手指アルコール：1L×28本、5L×61本 消毒エタノール：500ml×44本 除菌剤：4kg×28本、480ml×2本 アルコールハンドスプレー：3本 フェイスシールド：10個 袖付ガウン：1,200枚 ペーパータオル：15箱 非接触体温計：9本 マスク：4,500枚 N95マスク：100枚 ハンドソープ：48本 ハンドソープ詰め替え：4L×10本 泡ハンドソープ：3本 オートディスペンサー：15個 ポリ袋：21袋 ポリ手袋：38袋 プラ手袋：30袋 ニトリル手袋：42箱 ビニール手袋：2袋 キッチンタオル：24ロール 利用者対応用携帯電話：1台 空気清浄機：2台 注意喚起ポスター：550枚	感染症拡大防止のため、感染対策用品の支給及びこまめな消毒、啓発等情報発信を実施することで町内の感染症予防体制の整備を図ることができた。	R2.4	R3.3	1,576,257	1,575,733	健康福祉課
11	小豆島とのしょうふるさと応援大使事業	感染症拡大防止対策のステージを十分踏まえながら、新型コロナウイルス感染症により停滞している町内経済を再起させる。	小豆島とのしょうふるさと応援大使が作者のアニメ「からかい上手の高木さん」を活用した誘客促進を行った。	アニメの舞台のモデルとなったスポットを示した探訪マップや描きおろしイラストを使用した等身大スタンディを製作し、誘客に活用した。	R2.9	R3.3	5,427,750	5,427,750	商工観光課
12	小・中学校タブレット端末整備事業	国が推進するGIGAスクール構想に基づき、児童生徒向けの一人1台のタブレットと高速大容量の通信ネットワークを整備する。	GIGAスクール構想に基づきタブレットを整備した。 タブレット整備数：823台	一人1台端末の整備が実現され、ICT教育の推進による授業改善が図られた。学校内では児童・生徒の適切な学習利用を指導するとともに、将来的な家庭でのタブレット活用を想定したアンケート調査等を実施した。	R2.7	R3.3	26,823,520	26,823,520	教育総務課
13	庁舎等感染症対策事業	庁舎内等における職員勤務の新型コロナウイルス感染症対策の推進としてアクリルボード等を設置し、飛沫感染防止を行う。	感染拡大防止のための消耗品・備品を購入した。 アクリルボード：100台 非接触式検知器サーモマネージャ：2台 空気除菌清浄器：10台	向かい合う職員の間にはアクリルボードを設置し、職員間の飛沫感染を防止した。また、庁舎2か所の出入口に検知器を、主要会議室に空気清浄器を設置することで感染症対策が図られた。	R2.7	R3.5	2,912,360	2,912,360	総務課
14	ICT活用による感染症対策事業	Web会議・研修等のリモートワークを推進し、3密防止など感染機会を削減する。	Web会議・研修等に必要の機器を購入した。 Web会議用プロジェクター：1台 Web会議用スクリーン：1台 Web会議用ノートパソコン：11台	Web会議、リモートでの研修参加の推進により3密防止、感染症予防が図られた。	R2.7	R3.3	1,175,790	1,175,790	総務課
15	避難所等感染症拡大防止対策事業	台風等による避難に備えるため、避難所に係る感染症対策を図る。	避難所等における消耗品及び備品を購入した。 マスク：10,000枚 手指消毒用アルコール：130本 段ボールパーティション：328個 段ボールベッド：346個 扇風機：35台 コードリール：14個 延長コード：35個 パーティション：6個 避難所用テント：48個	災害時における感染症拡大防止のため、住民の避難所に新型コロナウイルス感染症対策用品を備えることで、感染症予防体制の整備を図ることができた。	R2.8	R3.3	7,223,829	7,223,829	総務課
16	障害者福祉助成事業	基礎疾患があったり、自己防衛ができない方が多い障害者に対し、マスク等の消耗品購入経費等を助成することで新型コロナウイルス感染症対策を図る。	対象となる団体に対し、新型コロナウイルス感染症対策経費を助成金により支援した。 助成団体：2団体	当事者団体を通じて支給することで、本人の障害特性により、自らマスク等の消耗品が購入できない者に対して配布するなど、ニーズに応じた細やかな感染対策が図られた。	R2.7	R3.3	335,000	335,000	健康福祉課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

No	①事業名	②事業概要	③事業実績	④効果・検証	⑤事業 始期	⑥事業 終期	⑦事業費 (円)	⑧ うち交付金 (円)	⑨ 担当課
17	小豆島准看護学院助成事業	小豆島准看護学院に対し、オンライン授業導入に伴う機器整備費及び衛生用品購入費経費等を助成することで、新型コロナウイルス感染症対策を図る。	新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン授業導入のための機器整備及び衛生用品の購入を補助した。	新型コロナウイルスの影響により、通常の対面授業が実施できない小豆島准看護学院に対し支援することでオンライン授業の環境を整備することができた。	R2.7	R3.3	960,740	960,740	健康福祉課
18	介護事業所等感染対策事業	町内の介護福祉事業所にビニールエプロンを配布し、高齢者等に対する新型コロナウイルス感染症対策を図る。	感染拡大防止のための消耗品を購入し、介護福祉事業所へ配布した。 ビニールエプロン：1,400枚	介護福祉事業所従業員がビニールエプロンを使用することで、感染防止対策が図られ、高齢者等が安心して事業所を利用することができた。	R2.7	R2.9	138,600	138,600	健康福祉課
19	医療機器等整備補助事業	小豆島中央病院が、新型コロナウイルス診療や感染拡大防止のための医療機器整備に負担するもの。	新型コロナウイルス診療や感染拡大防止のための医療機器整備費用について、小豆島町と2町で負担した。	新型コロナウイルス感染症患者対応として診察等感染症対応の環境を整備することができた。	R2.7	R3.3	4,376,000	4,376,000	健康福祉課
20	中小企業等事業継続応援給付金事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける町内事業者の事業継続と経営の安定を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が前年同月比で20%以上～50%未満減少している事業所に対して支援金を給付した。 法人100,000円：20社 個人100,000円：30事業所	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うインバウンドの急減や営業自粛等により特に大きな影響を受けている町内事業者に給付金を交付することにより、事業継続の支援に資することができた。	R2.7	R3.3	4,907,173	4,907,173	商工観光課
21	とんしょうプレミアム付商品券補助事業	プレミアム商品券の発行及び販売等の事業費の一部を補助することにより、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている町内事業者を支援するとともに、町内経済の再起を図る。	町内で使用可能なプレミアム商品券の販売事業について、補助を行った。 プレミアム分(30%) 販売実績：10,000セット	冷え込んだ購買意欲を高め、地元商店での消費に繋がった。 また、商品券事業を通じて、地元商店の魅力を改めて認識してもらうことができた。	R2.7	R3.3	32,816,550	32,816,550	商工観光課
22	観光誘客事業(復路フェリー無料キャンペーン)	GoToTravelキャンペーンと連動し、一定要件を満たす利用者に対してフェリー運賃の復路部分を無料化するキャンペーンを実施することで、新型コロナウイルス感染症により停滞する観光需要を喚起する。	フェリー運賃の復路無料化キャンペーンを実施する団体に補助を行った。 利用者数 乗客：10,872人 乗用車：5,638台	GoToTravelキャンペーンに連動した小豆島独自の観光誘客キャンペーンを実施することで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により落ち込んだ旅行需要が相率的に喚起され、観光関連事業者への誘客に資することができた。	R2.8	R3.3	11,470,000	11,470,000	商工観光課
23	海上航路を活用した瀬戸内広域プロモーション事業	外国メディアに対して、海上航路で巡るせとうちの船旅ルートの提案など、瀬戸内の魅力を広域的な体制でPRすることで、新型コロナウイルス感染症の影響で激減したインバウンドの誘客を図る。	神戸～小豆島～高松の海上航路とその周辺の観光スポットの広域プロモーションを実施。 イギリスとフランス市場をターゲットにせとうちの食文化のPRを図った	オンラインでFAMツアーを実施。 また、本事業で作成したWebページに65万以上の閲覧があった。 今後の万博なども視野に旅行商品の造成、誘客に繋げていきたい。	R2.12	R3.3	550,000	550,000	商工観光課
24	教育支援体制整備事業費補助金	新型コロナウイルス感染症による臨時休校により不足している授業数の補填や教育支援体制を整備することで教育の充実を図る。	新型コロナウイルス感染症による臨時休業のために遅れた学習を取り戻すための支援員を派遣した。	新型コロナウイルス感染症による臨時休校や学級閉鎖により、不足している授業数の補填や学習機会を支援する体制を整えることで教育の充実が図られた。	R2.7	R2.12	1,163,070	582,070	教育総務課
25	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開に伴う新型コロナウイルス感染症対策として、安全・安心な教育環境を整備する。	感染拡大防止のための消耗品及び備品を購入した。 飛沫防止スクリーン：13個 空気清浄機：45台 非接触型体温計：24個 マウスシールド：56個	新型コロナウイルス感染症対策として、飛沫防止スクリーンや消毒等に係る消耗品及び空気清浄機等の備品を購入することで、安全・安心な教育環境の充実が図られた。	R2.7	R3.3	4,005,480	2,003,480	教育総務課
26	修学旅行キャンセル等支援事業	新型コロナウイルス感染症による町内小中学校の修学旅行中止に係る各世帯へのキャンセル料補助する。	修学旅行中止による、交通宿泊費のキャンセル料を補助した。	新型コロナウイルス感染症による町内小中学校の修学旅行中止について、各世帯にキャンセル料を補助することにより、教育に係る経済的負担を軽減することができた。	R2.7	R3.2	433,110	433,110	教育総務課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

No	①事業名	②事業概要	③事業実績	④効果・検証	⑤事業 始期	⑥事業 終期	⑦事業費 (円)	⑧ うち交付金 (円)	⑨ 担当課
27	予防接種事業	インフルエンザ等の感染症の流行による医療機関の逼迫が懸念されるため、インフルエンザ等の予防接種を促進することで、新型コロナウイルス感染症拡大に備え、医療提供体制を確保するとともに、重症とな罹患患者を減少させる。	インフルエンザ等の予防接種者に対し、補助を行った。 定期予防接種分（65歳以上）：543人 任意60～64歳：445人 6か月～小学生：1,168人 中学生：147人	インフルエンザ予防接種を促進し、罹患患者の減少に繋がったことで新型コロナウイルス感染症拡大に備えた医療体制を確保することができた。	R2.9	R3.3	27,453,360	5,285,320	健康福祉課
28	医療提供体制確保事業	島の医療・介護・福祉の中核機関であり、小豆圏域における第二種感染症指定医療機関に対して、新型コロナウイルス感染症対策における医療提供体制の確保に係る経費を補助する。	医療提供体制の確保に係る経費を小豆島町と2町で負担した。	小豆医療圏の中核である小豆島中央病院に対し支援することで、コロナ専用病棟の維持継続や特別診療体制の実施など医療提供体制を確保することができた。	R2.9	R2.11	58,572,000	58,572,000	健康福祉課
29	町有施設環境整備事業	公共施設等における、感染機会を削減するための環境整備を行うことにより、公共空間の安全・安心の確保を図る。	感染拡大防止のための消耗品、備品の購入及び施設整備を行った。 非接触型体温計：1個 空気清浄機：6台 エアコン設置：3施設 座椅子：9台 トイレ洋式化：1施設	施設（斎場・隣保館・児童館）内での新型コロナウイルス感染症の拡大防止が図られた。	R2.10	R3.7	6,024,040	6,024,040	住民環境課
30	スマート農業推進事業	経済活動の復興を図るとともに、収穫後に備えた活動や新しいチャレンジを応援するため、最先端技術を利用した農業の導入に取り組む農業者を補助する。	最先端技術を活用した農業者へ補助を行った。 補助金上限額1,000,000円×4件	スマート農業の推進は、人の移動制限による労働力不足の対応に有効であり、農業生産の省力化、省人化及び効率化に向けた取組みが加速された。	R2.9	R4.3	3,854,700	3,854,700	農林水産課
31	高校2・3年生等特別給付金支給事業	新型コロナウイルス感染症による子育て世帯への経済的な影響の緩和を図る。	対象となる世帯に一律3万円の支援金を給付した。 給付対象者：180人 給付申請者：178人 (給付率：98.8%)	支援金をほぼ全ての対象者に給付することができ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済情勢の変化にタイムリーに対応することができた。	R2.9	R3.1	5,340,000	5,340,000	教育総務課
32	大学生等奨学特別給付金支給事業	将来の社会を担う学生が、新型コロナウイルスに影響されることがなく、安心して学び続ける環境を維持するとともに、子育て世帯への経済的な影響の緩和を図る。	対象となる世帯に一律3万円の支援金を給付した。 給付対象者：32人 給付申請者：29人 (給付率：90.6%)	支援金をほぼ全ての対象者に給付することができ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済情勢の変化にタイムリーに対応することができた。	R2.9	R3.1	870,000	870,000	教育総務課
33	生涯学習施設等環境整備事業	生涯学習施設等における感染防止対策のため、環境整備を行うことにより、公共空間の安全・安心の確保を図る。	感染拡大防止のための設備整備を行った。 エアコン：2台 空気清浄機：13台 体表面温度測定対応顔認証リーダー：3台 飛沫防止スクリーン：24枚 トイレ洋式化：2施設	環境整備に係る備品等を整備したことにより、新型コロナウイルス感染症拡大を防止することができ、安全に社会教育活動を実施することができた。	R2.10	R3.12	2,927,980	2,927,980	生涯学習課
34	放課後こども教室環境整備事業	放課後子ども教室における感染防止対策のため、環境整備を行うことにより、公共空間の安全・安心の確保を図る。	感染拡大防止のための備品を購入した。 空気清浄機：6台	環境整備に係る備品を整備したことにより、新型コロナウイルス感染症拡大を防止することができ、安全に社会教育活動を実施することができた。	R2.10	R2.11	538,560	538,560	生涯学習課
35	豊島地区シャトルバス環境整備事業	豊島地区シャトルバスを増車し密集を避けるとともに、キャッシュレス決済導入や換気機能等の導入により、積極的な感染予防や感染拡大防止を図る。	新型コロナウイルス感染症対策のためのキャッシュレス決済や換気機能を搭載したバスを導入した。 整備車両 ポンチョ（29人乗）：1台	キャッシュレス決済の利用が、現金支払いと比較して半数程度あり、感染リスクの低減や利便性の向上を図ることができた。	R3.1	R3.12	26,952,310	20,261,392	企画財政課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

No	①事業名	②事業概要	③事業実績	④効果・検証	⑤事業 始期	⑥事業 終期	⑦事業費 (円)	⑧ うち交付金 (円)	⑨ 担当課
36	地域公共交通 活性化・再生 総合事業	島内公共交通機関において全国的に利用されている交通系ICカードが利用できるよう機器等を整備し、乗務員と乗客の接触機会の軽減を図るとともに、新型コロナウイルス収束後における観光客の利便性向上及び地域経済の喚起を図る。	感染予防のためにキャッシュレス決済（Suica、ICOCAなどの主要な交通系ICカード：通称10カード）を路線バスで利用できるように整備する費用を小豆島町と2町で負担した。	事業者（路線バス）に聞き取りをしたところ、観光客の利用が多いと報告があり、感染リスクの低減や利便性の向上を図ることができた。	R3.1	R4.2	15,819,645	15,819,645	企画財政課
37	豊島交流センター環境整備 事業	豊島交流センターにおける感染感染防止対策のため、環境整備を行うことにより、公共空間の安全・安心の確保を図る。	感染拡大防止のための設備を購入した。 空気清浄機：1台	空気清浄機を設置することで、感染予防と利用者に対して安心感を与えることができた。	R2.12	R3.3	106,040	106,040	企画財政課
38	公共交通事業者 継続支援金事業	公共交通の確保維持のため、航路事業者及びタクシー事業者に対して支援金を交付する。	令和2年1月から令和3年3月までの間、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業の売上げが前年同月比で30%以上減少した月がある公共交通事業者に対して支援金を給付した。 フェリー1,000,000円：7隻 旅客船（20トン以上）500,000円：2隻 旅客船（20トン未満）200,000円：4隻 タクシー50,000円×21台	対象としていた公共交通事業者のほとんどから申請があり、新型コロナウイルス感染症の影響により低迷している公共交通事業者の事業継続への支援に繋がった。	R3.3	R3.7	9,200,000	9,200,000	企画財政課
39	常備消防感染 対策事業	常備消防（小豆地区広域行政事務組合）が行う感染防止資機材の確保や感染防止設備の整備、防疫等作業手当の支給等に対し負担するもの。	常備消防が行う感染防止設備の整備等に係る経費に対し、小豆島町と2町で負担した。 防疫等作業手当：134人 マスク 12,300個 感染防止衣 500個 手袋 24,200個 ゴーグル 5,445個 消毒室自動水栓・センサーライト 非接触型体温計 2個 衣類乾燥機・スタンド 各1台 オゾン水生成器 2台 検温モニター 2台 ポータブルアイソレーター 1台	新型コロナウイルス感染症の予防及びまん延防止を図るため、職員が使用する消耗品や必要備品等を整備することができた。	R2.12	R3.3	2,475,377	2,475,377	総務課
40	高齢者応援商 品券事業	高齢者への経済支援と町内商店の振興を図る。	高齢者に対し、町内商店で使用できる商品券を支給した。 @3,000円×2,224件	新型コロナウイルス感染症予防のため外出機会を失った高齢者への外出機会の創出と経済支援に一定の効果があった。	R2.12	R3.3	7,332,263	7,332,263	健康福祉課
41	国民健康保険 施設環境対策 事業	感染リスクのある乳幼児や高齢者が健診等で利用する国民健康保険施設（やすらぎプラザ）の館内換気設備を改修することで公共空間の安全・安心の確保を図る。	3密の防止や換気対策のため、空調設備を整備した。 整備施設：やすらぎプラザ	国民健康保険施設の館内換気設備の整備を行うことで、コロナ禍でも乳幼児や高齢者が安心して健診等を受けることができる体制を確保することができた。	R2.12	R4.1	32,296,000	32,296,000	健康福祉課
42	診療・検査医 療機関設備整 備事業	発熱患者の外来診療を行う「診療・検査医療機関」（香川県指定）が行う簡易診療室（プレハブ等）の整備に対し支援を行うことで、医療機関の診療体制の確保及び感染症対策の強化を図る。	簡易診療室の整備費に対し補助金を交付した。（補助率10/10、上限500千円） 補助件数：1件	発熱患者の外来診療を行う簡易診療室の整備を行い、町内の診療体制の確保及び感染防止対策を強化することができた。	R2.12	R3.1	500,000	500,000	健康福祉課
43	救急搬送対策 事業	救急搬送における円滑化のため、心臓マッサージシステム及び簡易型救助担架を整備する経費を負担する。	救急搬送の円滑化のための設備を購入する経費を小豆島町と2町で負担した。 心臓マッサージシステム：1台 簡易救助担架：1台	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う心配停止傷病者への対応として指針に沿った感染防止に効果的な心臓マッサージシステム及び救助担架を整備することができた。	R3.3	R3.3	1,283,900	1,283,900	総務課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

No	①事業名	②事業概要	③事業実績	④効果・検証	⑤事業 始期	⑥事業 終期	⑦事業費 (円)	⑧ うち交付金 (円)	⑨ 担当課
44	港湾施設等感染拡大防止事業	港湾施設等に非接触式感知サーモマネージャーを設置することにより、来島者の発熱等を速やかに検知し、感染拡大を防止する。	感染拡大防止のための設備を購入した。 サーモマネージャー： 土庄港3台（フェリー乗り場、港努所、ターミナル） 家浦港1台 唐櫃港1台	利用者がカメラの前を通過すると自動で検温できるサーモマネージャーを設置したことで、利用者自身の体温を確認することができ、新型コロナウイルス感染症に対する予防や啓発を行うことができ、町民の安心につながることができた。	R3.3	R3.8	1,469,380	1,469,380	企画財政課
45	在宅障害者等安否確認等支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を自粛する在宅障害者等の心のケアや安否確認を実施することで、心理的不安を解消する。	在宅障害者等に対し、心のケアや安否確認を行った。 安否確認：5件 (電話4件、訪問1件)	障害にかかる基本相談支援や個別支援計画の作成など平時から障害者と関りのある相談支援専門員による電話または訪問での安否確認を行うことで、今までと同じように事業所のサービスを使うことができなくなった在宅障害者等の心理的不安の解消に繋げることができた。	R3.3	R3.3	165,000	83,000	健康福祉課
46	農林水産業活性化緊急支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きの不安を抱える農林水産事業者を支援することにより、安定的な事業継続と農林水産業の活性化を図る。	対象となる農林水産事業者に対して支援金の給付を行った。 【農業】法人2,000,000円：2件、個人・任意団体375,000円：15件 【林業】法人2,000,000円：1件 【水産業】法人2,000,000円：2件、個人・任意団体3,750,000円：10件	新型コロナウイルス感染症の終息が見通せず、先行きの不安から設備投資、事業拡大等を控えていた農林水産事業者に対し、設備投資等の費用の一部を補助することで事業者の経費負担の軽減が図られるとともに、安定的な事業継続に繋がった。	R3.3	R4.3	17,719,934	17,719,934	農林水産課
47	宿泊業・飲食業関連事業支援事業	感染拡大防止対策に取り組みながら営業を継続する町内宿泊業・飲食業関連事業者を支援する。	対象となる事業者に対して支援金の給付を行った。 宿泊業等関連事業者150,000円：72件	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が長期化することにより特に深刻な影響を受けている宿泊業・飲食業と取引をもつ事業者に応援金を交付することにより、事業継続の支援に資することができた。	R3.3	R3.6	10,806,048	10,806,048	商工観光課
48	宿泊業営業継続支援事業	感染拡大防止対策に取り組みながら営業を継続する町内宿泊業事業者を支援する。	対象となる事業者に対して支援金の給付を行った。 大規模旅館・ホテル500,000円：11施設 小規模旅館・ホテル：250,000円：14施設 簡易宿泊所200,000円：33施設、 住宅宿泊事業者100,000円：1施設	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が長期化することにより特に深刻な影響を受けている宿泊事業者に応援金を交付することにより、事業継続の支援に資することができた。	R3.3	R3.6	15,774,496	15,774,496	商工観光課
49	飲食業営業継続支援事業	感染拡大防止対策に取り組みながら営業を継続する町内飲食業事業者を支援する。	対象となる事業者に対して支援金の給付を行った。 飲食店200,000円：106店舗	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が長期化することにより特に深刻な影響を受けている飲食事業者に応援金を交付することにより、事業継続の支援に資することができた。	R3.3	R3.6	21,228,696	21,228,696	商工観光課
50	公立認定こども園環境整備事業	公立認定こども園における、感染機会を削減するための環境整備を行うことにより、公共空間の安全・安心の確保を図る。	感染拡大防止のための消耗品や備品を購入した。 飛沫防止スクリーン：小100枚、大25枚 エアコン：1基	新型コロナウイルス感染症対策として、飛沫防止スクリーンを購入することにより、安全・安心な保育環境の充実に図られた。	R2.6	R3.3	1,125,696	1,125,696	教育総務課
51	スクールバス環境整備事業	スクールバスを増車することで、児童・生徒乗車時の密な状態を解消するとともに、光触媒処理をすることで感染予防や感染拡大防止を図る。	分散登校など3密の回避のため、スクールバスを購入した。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、光触媒処理を行った。 スクールバス：1台 光触媒施行（抗菌・抗ウイルス）：13台	スクールバスの整備により児童・生徒の座席数確保による感染リスクの軽減を図ることができた。また、感染拡大期におけるスクールバス通学の対策として、全ての車両に抗菌・抗ウイルスの光触媒を施行し、利用者の不安解消に繋ぐことができた。	R3.3	R3.11	13,835,230	13,835,230	教育総務課

522,316,482 490,792,000